



第112号

発行

社会福祉法人恵風会・あざみ園・あざみ園保護者会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8 / TEL (076) 457-2301 / FAX (076) 457-2303
http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp

駐在所の仕事

富山西警察署山田駐在所

高崎 博

今年山田駐在所に赴任し、半年が経ちました。あざみ園利用者の方とお会いする機会は減ってしまいましたが（ア・シスルでのパンの販売終了）、山田保育所、山田小学校、山田中学校合同の運動会の中では、あざみ園利用者の方も参加される競技があり、利用者の方、地域の方にとって大変よいことだと感じました。

また、先日あざみ園職員の方に対し、不審者対応訓練を実施してもらいました。利用者の方も職員の方の指導をよく聞いて行動され感激しました。

山田地区では、駐在所をわりと身近に感じていただいていると思いますが、警察の中で駐在所はどんな仕事をしているか、案外知られていないのではないのでしょうか。

駐在所は、職場と家庭が一緒になって地域に住み、皆さんと接し、皆さんの協力を得ながら地域内の事件、事故、犯罪等がないように努めているのです。

具体的には、事件事故の防止のため、不審な者はいないだろうか、危険な場所はないだろうかなどとパトカー等でパトロールしたり、担当する地域の家庭や事業所を訪問し、犯罪の予防、災害・事故の防止等、住民の安全で平穏な生活を確保するために必要な事項の指導・連絡や、皆さんからの意見・要望等の聴取を行う活動である巡回連絡をしたりしています。

とにかく日常の中で起こり得る警察事象に即応し、皆さんに安心して暮らしていただくための仕事をしています。

終りになりますが、駐在所の仕事をやり遂げるには地域の皆さんの絶大なご協力が必要ですので、今後ともよろしく願っています。

あざみ園祭

平成27年10月18日(日)

「JOIN～みんなで」が今年にあざみ園祭のテーマ。利用者、保護者、職員、ボランティア、出演者等々、沢山の人がいろいろな形で参加できる祭りとなりました。

ステージ

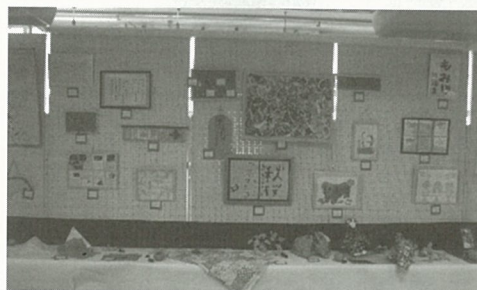
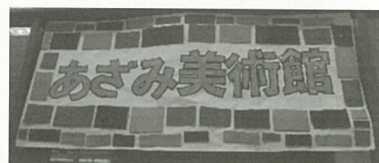
あざみ園の利用者発表は「仮装大賞!」「ダンス」「ミュージカル」の3グループに分かれ、行いました。どのプログラムも会場の皆さんと一緒に楽しむことが出来るステージになったと思います。

また、あざみ園祭常連の「山田保育所のお遊戯」「山田小学校のマンドリン演奏」「新庄ちょぼらさん」、「羽根の暮らし(ケアホーム発表)」「ダンスの「伊藤拓次さん」、三味線の「楽家トリオ」の皆さんのステージ。どのプログラムも会場一体となり、大盛り上がりでした。



あざみ美術館

ここでは利用者の皆さんの個性的な作品が勢ぞろい。1人1作品を目標に作品づくりに取り組みました。



どんぐりカフェ

どんぐり工房では自分たちで育成、収穫をした野菜やハーブを使った自家製サンドイッチをはじめ、ミントやレモンバームを使ったジュースなど、どんぐり工房の利用者さんたちが携わったメニューを提供しました。



and more...

「チャレンジ・ザ・ランキング」「クイズ&スタンプラリー」、利用者・職員全員で作成に取り組んだ「好きノート展示」・「手形アート」等「JOIN～みんなで」をテーマにした催しが盛り沢山。ボランティアの皆様のご協力で利用者の皆さんが楽しめる盛りだくさんな1日となりました。

夏祭り☀️



H27.8.28

8/28(金)に夏祭りを行いました!
オープニングでは黒部市のゆるキャラ「ウォー太郎くん」が会場を盛り上げてくれました。

初めて見るウォー太郎君に利用者さんも「可愛い〜」と大喜びの様子でした♪

昼食は、沢山の種類がある中華バイキングで「どれにしようか・・・」と迷いながら、沢山食べて幸せそうな顔が見られました!



ゲームタイムでは、縁日のような雰囲気、魚釣り・宝探し・射的・ヨーヨー釣りなどを楽しみました!



ボランティアさんに応援されながら、皆さん頑張っていました!

ゲームで好成績を残した上位3名の皆さんです!



ゲームを楽しんだ後は、お待ちかねのコーヒータイトム♪今年もスターバックスコーヒーさんに来ていただき、美味しいコーヒーでホッと一息つきました!



最後は、館谷園長ファミリーによるおわら踊りで夏祭りを締めくくりました!わかりやすい説明と風情ある踊りで、皆夏の終わりを感じつつ・・・楽しく参加していました!

最後に・・・夏祭りを盛り上げてくださったボランティアの皆さん!みなさんのおかげで楽しい夏祭りとなりました!ありがとうございました♪

ゆとりの時間

映画

H27.7.16

ファボーレへ映画鑑賞に出掛けました。それぞれが好きな飲み物や食べ物を選び映画を楽しみました。他のお客さんも少なく、静かに映画を鑑賞できました。



遊覧船

H27.7.23

富岩水上ラインの「もみじ」号に乗り、環水公園～中島閘門までのクルージングを楽しんできました！あいにくの雨でしたが、船長さんやガイドの方と沢山お話をして船の上でゆったりとした時間を過ごすことができました！



ぶどう狩り

H27.9.8

9月8日、音川ぶどう園にぶどう狩りに行きました。天候はあいにくの雨でしたが、ビニールハウスの中でしたので雨に濡れることなくゆっくりと楽しむことができました(#^.^#)



敬老会

平成27年9月15日
火曜日

9月21日の敬老の日に先駆けて、あざみ園では9月15日に敬老会を行いました。今年はボランティアさんに来ていただき、「笑いヨガ」をみんなで楽しみました。「アッハッハー！」とみんなでたくさん笑った後は、豪華なお弁当を食べて大満足の様子でした。

敬老者のみなさんおめでとう！これからも元気に笑顔で長生きしてくださいね！



行事のご案内

11月の行事



1日…来園日
17日…ゆとりの時間(電車)



12月の行事



3日…ゆとりの時間(温泉)
6日…来園日
16日…クリスマス会
25日…餅つき

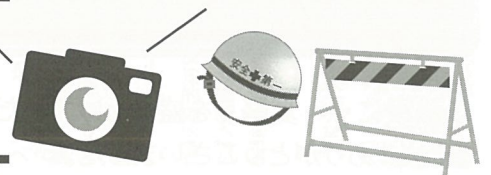
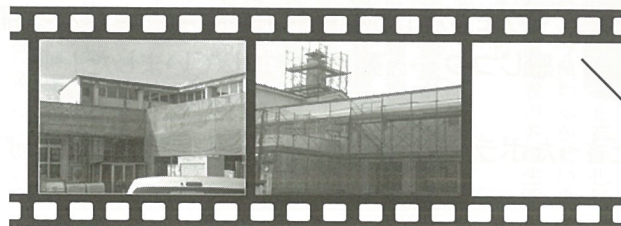


1月の行事



11日…来園日
19日…ゆとりの時間
(ゲームセンター)

改修工事 写真



「赤田ホーム」ニュース

映画鑑賞

9月12日(土) ファボーレに4名で出かけ日用品の買い物を行った後、映画館にて映画を鑑賞しました。4名揃っての鑑賞は意外と初めてであり、それぞれポップコーン、ジュースを購入しその日封切の邦画「天空の蜂」を鑑賞しました。上映中はハラハラする場面で思わず声を出してしまったり、ポップコーンをむしゃむしゃと食べたり、それぞれくつろぎながら鑑賞していました。4名とも「面白かった、また来たい」と満足な休日を過ごしました。



まったり、ポップコーンをむしゃむしゃと食べたり、それぞれくつろぎながら鑑賞していました。4名とも「面白かった、また来たい」と満足な休日を過ごしました。

「羽根の家」ニュース

平成27年9月5日(土) 山田保・小・中合同運動会のデカパンレースの競技に参加しました。なかなかデカパンをまたいで履くことが利用者の方には難しく、スムーズに履けないことが逆に競技を盛り上げたのではないのでしょうか。



A Z A M I

自治会だより

ふれあい育成スポーツ大会

H27.9.25

総合体育センターにてふれあい育成スポーツ大会が開催されました。

玉入れや綱引き、走ったり投げたりと沢山競技にも参加しました。競技以外にもみんなで踊ろうや県警のプラスバンドの演奏を聞き、汗も笑顔もいっぱい充実した一日でした。



お別れ会

野嶋さん

舟根さん

今まで本当にありがとうございます。毎日、みなさんの明るく元気な笑顔に励まされ頑張りました！また皆さんに会えるのを楽しみにしています。



短い間でしたが大変楽しく仕事をさせていただきました。これからはパンを買う側になります。また宜しくお願いします。

職員研修参加報告

第52回北陸地区

知的障害関係施設職員研究大会
ともに生きる社会をめざして
〜今、大切にしたいこととは〜

事務員 山本 晋弥

中央情勢報告では、やはりというべきか、最近マスコミで取り沙汰されている「虐待」や「内部留保」に関する話が多くあった。特に虐待についてはその違法性について日本知的障害者福祉協会会長の橘氏が口を酸っぱくして繰り返していた。虐待が明るみになることで、加害者へは直接の影響として「社会的制裁」があるが、それとは別に福祉従事者全体へも「信頼感の喪失」といった影響がある。また、報酬単価引き下げの口実を国に与えてしまい、結果、収入減少という影響も懸念される。

一方、事務の分科会では、どの発表者も大きな変更であった新会計基準への移行の話がメインであり、言葉の端々に大変さがにじみ出ている。恵風会もH27年4月1日に移行したため、先に移行を済ませた施設の補正予算や決算の注意事項を傾聴した。書籍やネットで会計業務のチェックリストが豊富にあり、それらを活用することで効率化が果たせるのではないかとのことである。経費削減への提言も多くあり、相見積りでの活用、携帯などは新サービスへの変更、古い耐久消費財（家電）は買い替えて（イニシャルコストはそれなりにかかるが）ランニングコストを下げ、結果として削減につながる、とのこと。

情報交換会では、分科会ごとにテーブルがあり、事務員は銀行員からの転職が多く、お金の扱いに関しても強く、特に若い銀行員は給料も

安いため、採用時（ヘッドハンティング）にはぜひ検討をと力説された。また、事務員が複数名いる施設では、一人が全ての業務を手広く行うのではなく、出納は出納、請求は請求、など専門で分かれてスペシャリストとして業務に当たるとの話題があった。

講演会では、阪神淡路大震災の話題に始まり、東日本大震災、そして最近のG.Hの火災の話があった。G.Hは小規模だが、規模の割に死者など被害が大きくなりやすいため、民家を改築したG.Hなどは建物の特殊性を考慮した訓練が必要とのこと。また、避難経路、避難口、通報設備の維持管理が大事である、といったことが話された。

最後に、全体的には施設内での虐待の話題が中心であり、世間的にも注目されているため、その話では会場のトーンも下がり気味であった。橘会長曰く「福祉協会80年の歴史は「信頼」で成り立っている」。虐待報道はその信頼関係が覆されかねない大事件であり、より一層の注意喚起と意識改革が必要であると感じた。

生活支援員 若林 千春

今年度の研究大会の会場は石川県で2日間にわたり開催されました。今回私が参加したのは、第二分科会でテーマ「高齢化・加齢化・重度化への対応」〜おだやかな人生を支えるために〜主旨としては「重度、高齢化の進む中で利用者ニーズは多岐にわたり変化もしている」「利用者の真のニーズをどのように引き出して支援に反映させるか」「穏やかな人生を支えるための対応を考えます」の3つでした。

三施設の生活支援員の発表を聞いたのですが、施設の現状として「数年前には想像も出来

なかつた加齢に伴う身体の急激な変化」「病気等による急激な重度化高齢化」「今までの設備や支援方針では対応できなくなった」「終末期ケアを支える支援」などの言葉の数々を聞き、あざみ園の現状と重なる部分が大きく心にとても重く受け止めることとなりました。

三施設共に施設開所当初の、支援方針や施設設備では高齢化などに伴って発生する問題にだんだん対応できなくなっており、不安や戸惑いながらも少しでも良い方向へとむかおうべくように利用者の事を考えた、症状に合わせてマンツーマンでの2時間をかけての食事摂取や毎日の嚥下運動、専門機関との密な連携、施設で最期を迎えたい方の要望に応える、設備の充実など、とても思考し努力している姿がみえました。同じく高齢化してきているあざみ園でも、身体の衰えや入退院を繰り返す、転倒による怪我が増えるなど、共通した問題が発生してきており、現在はその対応に悩み追われている状態です。今後さらに人数も増え深刻化したときの為に今から多くの準備や専門知識が必要だと改めて感じました。

利用者の一人一人の障害特性に合わせた知識の習得や改善への取り組みの大切さ、職員体制や利用者の日課の見直し、合わせて施設設備にも注意を払い環境の改善も積極的に進めておられ、浴室のリフターの設置、特殊浴槽、電動式ベッド、段差解消スロープ、トイレの補助台などの設備等の個別支援も厚くしているとのこと。施設設備の改善は高齢化・重度化した利用者の安全で快適な生活を支える為はもちろんのこと、職員の負担も減らし事故防止対策として安全な支援へと結びつくと感じました。

今回の分科会のテーマでもある「穏やかな人生を支える為」の支援を念頭に置いて利用者の方と向き合った支援をし、高齢化に向かっていく利用者の方の充実した人生へと繋げていかなければと思いました。

セーナー苑 高齢者生活講演会に参加して

生活支援員 田島 真須美

9月12日、高志会館に於いて「高齢知的障害者の理解と対応 50歳からの支援」という講演会がありました。講師は独立法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の志賀利一氏でした。

高齢期の知的障害者支援に関する3つの不安を掲げられました。①親亡き後の障害者の支えは、少子高齢化、核家族でなかなか難しい事②施設等への方針変更等、今までの成長、自立へ向けての支援が前提の施設、事業所を高齢化により心身の機能が顕著人にとり関わるかという事③地域生活をしている知的高齢者の各種生活上の課題への対応の在り方です。

高齢になるという事はすべての人に共通していません。身体的、免疫、認知機能が低下していきます。それは、健康者でも知的障害者でも変わりません。特に知的障害者は白髪やシワ、姿勢などの老化傾向、さらに視力、聴力の低下が早いと報告されました。障害の程度や個人差も大きく、一概には言えませんが概ね10才あるいは20才身体機能の低下があると見られるリスクがあると考えた方がよいと言われています。その為、高齢化した入所者により安全に、快適に生活して頂くため、今まで以上に個々の状態に応じた支援が求められています。毎日の状態を細かく書きとめ、職員同士の情報の共有、引き継ぎを確実にに行い支援に当たっていく事が大切です。さらに、心構えや介護技術だけではなく、施設の設備、若い障害者との混在、医療、食事、生活、活動面等、高齢者に対して改善すべき課題は沢山あります。



保護者会コーナー

第二回全国手をつなぐ育成会 連合会全国大会 「高齢部会」に参加して

中村 美智子

九月二十六・二十七日、名古屋にて東海・北陸大会と同時に開催されました。「ひとりひとりのかけがえのない人生を大切に共生社会の構築」障害者差別解消法の施行と障害者総合支援法三年後の見直しを控えてくをテーマに行われました。

―高齢部会研究発表より―

「高齢化重度化における医療を含めた介護保険との関係」

(重度知的障害施設のみ(の園))

一、2000年介護保険法(障害の有無に関係なく高齢者(六十五歳以上)の新たな福祉制度の創設、知的障害者も六十五歳以上は原則介護保険優先

・知的障害者が高齢になるということとは知的(認知)能力はさらに低下していく。生活体験が少ないので、心身の老化が十〜二十歳早い。

・1973年療育手帳仕組み、六十五歳以上手帳交付数は5・7%、約5万人と推計。

・把握されていない高齢者は全国12・7万人。生活のしづらさを持

つ高齢者を含め、合計推計は全国で18万人。

・何歳で病気にかかるか(五十歳発症が一番多い)。

①脳、神経疾患、②消化器、呼吸器、皮膚及び皮下組織、眼及び付属器、③泌尿器、④消化器疾患、⑤その他

一、高齢障害者の生活の場

・社会福祉施設(51%)

・ケアホーム、自宅(45%)

・精神病院(4%)

※六十五歳以上で在宅から障害者施設入所は全国で一年八十人程。

・在宅から特養入所は全国で一年千人程。

・施設から特養移行は全国で五百人程。

・特養に入所する知的障害者の年齢は七十五〜八十五歳が最も多い。

一、高齢障害者が利用できる制度

・六十五歳以上は介護保険優先だが自治体によっては障害福祉双方利用可能

併給②(「上乗せ部分」)

介護保険の支給限度額を超える部分は障害福祉から給付

介護保険と障害福祉で共通するサービス

併給①「横出し部分」

介護保険にないサービスは障害福祉から給付

一、メリハリのある人生の節目を記録する

・ライフスリーワーク
障害者の記録帳に写真、パンフ、好きなものの病気等を全て記入し支援者に託す。

一、四十歳、五十歳の人生折り返し時点からの準備

・知的障害者にとって「生活環境の大きな変化」の時期であり「心身の能低下が顕著になる」時期であり、このタイミングでのケースマネジメントが重要になる。

◆健康(早期からの生活習慣病予防、健康診断の受診)。

◆住まいの選択(最もリスクが少ないと思われる住まい選び)。

◆本人に意思(新たな生活への移行は、体験と繰り返し確認といった丁寧な意思決定支援)。

◆過剰なる負担予防(親の医療・介護、死後の事務、財産分与等困難と想定される将来のイベント負担を軽減する対策)。

◆収支予測(私的な資金や公的な制度

から、大まかなる生活上の収支と貯蓄の計算を。

一、地域生活安心支援コールセンター事業
24時間緊急相談受入等(新潟県上越市・愛知県知多半島)

一、成年後見制度センター利用
センターは知多地域にもある。

一、重度・高齢グループホーム「そら」(北海道札幌市)

医療との連携を深めた暮らしの場
平成二十四年四月に開設、十八名入居。住宅地隣接の、入院施設よりも手厚い介護が出来ないかとの思いで始めた。

一、チャレンジダンスサーズ(知的障害者ダンスエンターテインメントスクール)。

メディアやマスコミにも取り上げられ、活動しているグループの発表を観て、知的障害者を持っている人達でもこんなに激しいダンスが出来るのだと、感動し勇気付けられ反省させられました。

ク★ラ★ム

ボケ防止にクイズ本を解いている。得意なのはアロー&スケルトン。好きなのは漢字クイズである。これが難しい。四字熟語・難解漢字等は辞書を引きながらやる。出来た時には正直嬉しい。でも、一番のボケ防止は一人ではなく、たくさんの方のおしゃべりである。私はこれも得意分別の一つである。

T・J



職員ページ



私のすきなこと 常本 数也 あざみ園看護師編

私の幼い頃の夢は歌手でした。実父が山田流青森津軽三味線家元「山田千里先生」の愛弟子「名取山田一里」であり、北陸地区を中心としてイベントや各種大会等で活動しています。その影響もあり、子どものから青森県に向向く事が多く、また演歌・民謡を中心とした歌を聴かされ、大会等で唄ってきました。学生時代になると、コピーバンドサークルを結成し、当時流行していた「DAPUNP」や「ラルク・アン・シエル」、「LUNASSE」等の曲をカバーし、ボーカルとして学園祭や夏祭り等で歌ってきました。社会人になつてからは、ソロで活動する機会が多くなり、北日本クラリオン主催のクラオケオーディションやラジオ金沢・日本クラオケスタジオ大賞、キングレコード主催の大会等々に参加し歌ってきました。

ものまねのレパートリーとしては、松山千春、平井堅、徳永英明、槇原敬之、福山雅治、五木ひろし、千原ジュニア、蛭子能収、アンガールズ田中等々です。似ている似ていないについては賛否両論ございますが、友人や先輩の結婚式の余興・二次会等でご披露させて頂いております。

歌の方では、EXILE「Ti Amo」、福山雅治「squalor」「最愛」、藤井フミヤ「TRUE LOVE」安全地帯「ワインレッドの心」「恋の予感」「碧い瞳のエリス」、井上陽水「いつそセレナーデ」、大橋純子「シルエットロマンス」、松山千春「季節の中で」「恋」「銀の雨」、風「22才の別れ」、高山厳「心凍らせて」、村下孝蔵「初恋」「踊り子」、ピリー・バンバン「また君に恋してる」「さよならをするために」、中条きよし「うそ」、サイモン&ガーファンクル「スカポローフェア」等々。

しかしオーディションでは、自らの力不足により優勝や準優勝の賞を受賞する事が出来ず、北信越大会や全国大会のレベルは非常に高い事を身を持って知らされました。その後は本業の歌をしばらく休み、歌手のものまねをして歌うようになり、最近ではものまねが主流となりました。

今までお客さんから喜びの声を頂く事ができました。今後もギター片手に歌い続けたいと思います。

次回は谷本支援員です。お楽しみに!!



あざみ園へ来園された皆さん

(平成27年7月〜10月) (敬称略)

- 富山福祉短期大学 竹内久義 他3名
- あすなろ保護者会長 高林真砂 他2名
- けやき苑保護者会長 阿閉淳子 他2名
- (徳) 福利厚生センター理事長 樋口正昇
- けやき苑長 中沖敏 他4名
- けやき苑保護者会 30名
- 富山市議会議員 浅名長左衛門
- 富山市山田総合行政センター所長 坂井栄一
- 富山市立山田小学校校長 吉藤重弘
- 富山市立山田中学校校長 白石豊
- 富山市野外教育活動センター所長 塚本靖男
- 富山市山田宿坊総代 今井豊治
- 富山市山田沢連総代 沢田豊
- 山田郵便局長 中家智之
- 北陸銀行八尾支店長 山崎英司
- 富山第一銀行婦中支店長 森山一昌
- 前あざみ園長 平田和靖
- 同管理課長 窪野達章
- 恵風会理事長 野尻昭一
- 恵風会理事 菊川祐介 村上伸治 山下義弘
- 同評議員 田中義正 高田恒昭

善意の心

ありがとうございます

(平成27年7月〜10月) (敬称略)

- 金岡 紘子 田中 清美
- 広田 留雄 福村 順子
- 多田 慎一 浅名 通紀
- 野尻 昭一 田中 義正
- 吉野 栄子 平田 和靖
- 窪野 達章 山田沢連地区
- 山田宿坊地区 けやき苑保護者会
- 社会福祉法人けやき苑
- 特定非営利活動法人愛和報恩会
- つつじ、このみ保護者会
- 日本赤十字富山県支部山田分区
- 北陸銀行八尾支店
- 富山第一銀行婦中支店

ボランティア

ありがとうございます

(平成27年8月〜10月) (敬称略)

- 関 由美子 (食品加工)
- 澤村ひろみ (食品加工)
- 杉江まさみ (食品加工)
- 葛原 仁美 (食品加工)
- 道下 和美 (音楽療法)
- 中野 裕子 (音楽療法)
- 山本 明美 (アクアクラブ)
- 大瀬 春江 (手工芸クラブ)
- 石田すみ子 (手工芸クラブ)
- 谷井美智子 (手工芸クラブ、食品加工)
- 日赤奉仕団 (シャツ交換)
- 大谷矢辰則 (笑いヨガ)
- 二口 節子 (どんぐり工房)

実習生

○富山大学

【介護等体験】

平成27年8月10日〜8月14日 1名

平成27年8月24日〜8月28日 1名

○高岡第1学園幼稚園教諭・保育士養成所

【保育実習Ⅰ】

平成27年8月31日〜9月11日 4名

お知らせ

現在「平成27年度競輪公益資金による補助事業」あざみ園外壁等補修工事中です。皆様には、いましばらくの間ご不便をおかけいたしますが、ご協力お願いいたします。

編集後記

園祭も大変盛り上り、無事終える事が出来ました。ご来場、ご協力いただいた皆さま、どうもありがとうございました。

